



## がん市民公開講座

消化器外科医長 畑 中 信 良

2010年2月19日、呉市文化ホールを会場にがん市民公開講座が行われました。開場の12:00にはすでに入場を待つ方々の列ができる盛況ぶりでした。開演時には1600人収容のホールがほぼ満席となり、職員の多くは立って

観覧する状態でした。また会場では呉医療センターの各部門の広報、がん患者さんのサポート製品の紹介、各疾患の解説のパフレットの配布など様々な催しも行われ、好評を博していたようでした。

まず当院呼吸器外科山下、消化器外科畑中の両名が講演しました。公開講座の目的ががん検診の受診率向上を目的としたものでしたので、肺がん、胃がんについて低侵襲手術の話をしました。会場には化学療法を受けておられる早期がんではない患者さんやその家族のかたの顔もたくさんお見かけしましたので、その方々の前でお話をするのはすこしつらい思いもあったのですが、両名とも早期発見の重要性を強調したつもりです。そのあと大腸がんで闘病中のキャスターの鳥越俊太郎さんのお話と鳥越ファミリーによるコンサートがありました。さすがに鳥越さんはお話がうまく、ご自身の入院、手術に際してのエピソードをユーモアを交えて巧みに語られ

ました。そのなかで聴衆に対しては大腸がん検診での検便の重要性を強調されていたのですが、私にとっては大腸内視鏡のときにトイレで苦勞された話が印象に残りました。幸い当院では近く内視鏡室の改装が予定されており、鳥越さんが体験されたような思いをこれからは当院の患者さんに味あわせなくてもいいのではないかと考えつつも、患者さんの切実な思いにふれたような気がしました。来場くださった市民の方々、準備に奔走してくださった職員の皆さんに感謝しつつ、これを機会にすこしでもおおくの方に検診を受けていただき、がんの早期発見を心がけていただくように祈った1日でした。





講演風景  
写真集

2011.2.19 がんに負けないトーク&コンサート  
～鳥越俊太郎氏ファミリーを迎えて～

